

会 議 録

会 議 の 名 称	令和2年度 第1回 岩城まちづくり協議会
開 催 日 時	令和3年2月22日（月） 午後6時00分～午後7時15分
開 催 場 所	岩城会館 1階 日本海の間
出 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
欠 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
<p>【会議次第】</p> <p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ</p> <p>3. 案件</p> <p> (1) 経過説明</p> <p> (2) 協議</p> <p> テーマ【コロナ禍における地域課題と地域住民ができること】</p> <p> ① 町内会等の規模で地域コミュニティを深めることが出来る活動等の企画・提案</p> <p> ② 地域にコロナ禍が発生した場合の心がまえ ○箇条（○=数字）</p> <p>4. その他</p> <p>5. 閉会</p>	
会 議 の 経 過	別紙のとおり

会議の経過

令和2年度 第1回 岩城まちづくり協議会

令和3年2月22日（月）
午後 6時00分 開会

【進行・開会】

○大竹市民サービス課長

本日は、お忙しいところ、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

それでは、ご案内の時間となりましたので、只今より令和2年度、第1回「岩城まちづくり協議会」を開会いたします。

【あいさつ】

●渡部会長

本日は、お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。

岩城まちづくり協議会は、コロナ禍の影響を受けまして、しばらく顔を合わせての開催ができておりませんでした。そのコロナ禍の中で地域の実情がどうなっているのか、地域活性化はどのようなことが出来るのかということをおみなさんに事前に提出していただきました。特に地域においては、さまざまな行事が中止され、各地域においてもコミュニティ活動が全く行われていないところも多く出てきている。これを続けてしまうと、高齢化もあり、限界集落への道が早くなってしまう。みなさんには、コロナ禍においても、コミュニケーションをとりながらできること、やれることを提案していただき、地域に提案できればいいなと思っております。今回は、みなさんに事前に提案していただきました内容を取りまとめていければよいと思っております。

～会議進行は、渡部会長へ～

●渡部会長

前回の会議から時間も経過しておりますので、協議案件に入る前に事務局より経過説明をお願いいたします。

〔事務局より説明〕

- ・これまでの経緯。
- ・3回行われた 企画運営部会の内容報告（文書で報告済みの補足説明）。
- ・これからの流れ。

●渡部会長

事務局よりこれまでの経過を説明していただきましたが、説明にあったとおり、顔をあわせる機会を設けることも難しくなっているため、みなさんに事前にテーマ内容を記載していただいたところです。

そうすれば、各委員のみなさんに記載してもらった内容を、自己紹介をしながら、順番に説明いただければと思います。

[各委員よりそれぞれ記載してきた内容を説明]

テーマ【コロナ禍における地域課題と地域住民ができること】

- ① 町内会等の規模で地域コミュニティを深めることが出来る活動等の企画・提案
- ② 地域にコロナ禍が発生した場合の心がまえ ○箇条（○=数字）

●A委員

- ①については、外に出れる活動があればいいと思う。
- ②については、コロナ禍は今後も続くと思うので、蔓延防止の観点から心がまえを作っていればいいと思う。

●B委員

提案内容については、事前に提案された中から選択していけばいいと思う。

●C委員

- ①老人クラブでは、高齢者の感染が多いため、活動は中止している。
不要不急の外出は自粛している。
外出の自粛、3密など高齢者でもわかるよう、内容をかみ砕いて説明していくべきだ。
- ②県や市が説明している内容があるので、作成するのであればよりかみ砕いてわかりやすいものを事務局で作ってほしい。

●D委員

- ①不要不急の外出は自粛すべき。活動しないといけないとは思っているが、うつればどうする、うつせばどうするといった意識があって、活動を考えることができない。

●E委員

- ①企画をして活動してもらったとしても、感染させた場合にいろいろ言われるといった意識があって、活動を考えることができない。活動を考えるにしても行政の方から、“10人までならいい”“20人までならいい”といった基準があれば助かるのではないかと思う。

●F委員

- ①地域のレクリエーションとしては、屋外で離れて行えるパークゴルフなどを行った。また、別の会では子供たちに何か物を作って渡したりするようなレクリエーションした。子供たちも喜

ぶし、そういった活動はいいと思う。

②については一人ひとりが意識して、手洗いうがいをしっかりと、慎重に行動していくというようなことをしていけたらいいと思う。

●G委員

①子供達がストレスを感じてきている。今まで登校を拒否したことがない子供も、学校に行きたくないと言う子供が出てきたとのこと。先ほど、外出自粛を徹底すべきだという意見もあったが、子供たちのことを考えれば、それだけではいけないと感じる。青空縁日だとか外で楽しめる活動を提案していけたらと思う。

②誹謗中傷はないとは思っているが、受け取る側が気にしすぎてしまっている場合もある。そういった部分も箇条書きにして意識を伝えるような内容を作っていけたらと思う。

●H委員

①活動をするために、飛沫防止用の衝立を各町内や婦人会に貸出しすればいいと思う。また、密にならない活動として、各自治会にこういう活動があると紹介していければいいと思う。

②そもそもはっきりとした予防策がない中で、心構えというものは思いつかなかった。コロナ対応関係の連絡先が書いてあるレジユメを各家庭に配布すればいいと思う。予防策を広報等で何度も周知していければいいと思う。

●渡部会長

皆さんから意見をいただきました。コロナ対策では3密を避ける、不要不急の外出をしないというのが一番ではありますが、コミュニケーションが不足することにより子供達にストレスがかかっていたり、高齢者が孤独を感じるということになっているという実態を聞くことができました。

C委員にお伺いしたいが、(この状況下において)外出をしないのが一番というのはわかりませんが、コロナが今後も続いていくということも考慮して、高齢者の方々は今後どのようにしてお互いのコミュニケーションをとっていけるのかご意見がありましたらお願いします。

●C委員

.....。

●D委員

(今後状況が好転してきた場合)行政の方でもある程度良くなったから、ここまでは活動していいよとかいう発表は出せないですね。

○大竹市民サービス課長

活動したことによって、感染が拡大するという恐れがあることを考慮するとその発表はないと思われます。

●D委員

ですよね。役所でいいと言われたからと役所のせいになされても困りますよね。

それを考えると、少人数で活動するとか間隔をあけて活動するとかしかないと思います。

一番怖いのは、活動をした人たちが、“あの人がやったから”“あの団体がいいと言ったから”と指をさされるのが怖いです。人間は他人のせいにするところがあるので、それを考慮すると難しいです。何も活動しないのが一番いいかなと思うのが正直なところ。誰かが号令をかけたからできるものなのか。確かに外出したい、いろいろな活動をしたいという気持ちはあります。

消極的ではありますが、いま、まちづくりそのものもこの状況下で行うというのは困難であると思いますので、もう少し様子をみた方がいいと思います。

● C委員

もう少ししたら、コロナウイルスもいなくなるかもしれないではないか。コロナも今後の予防接種やその他の対策でインフルエンザと同じような対応になってくると思う。

この地域では、現在は出ていないと思う。だから今は地域のコミュニティを深めるとしてもまず、我慢して活動を自粛することだと思う。

どうしても、コミュニケーションが必要だと思う場合は、役所と同じで文書で周知すればいいことだ。だから、その文書をどういう形で出すかということだ。

いまここで、コミュニティが不足していると言っているが恐らく特効薬はないと思います。

コロナへの対策は、新聞、報道で毎日でている。

だからいまこの協議会で何をするかといえば、“まず、自粛しなさい”と言うぐらいと私は思います。

なんとしてもやらなければならないというのであれば別ですが。

● 渡部会長

地域のコミュニケーションを図ることは自粛したほうがいいという意見が2名からありました。

コミュニケーションを図る方法は、対面ですべてやらなければならないわけではない。IP電話やSNSなどのネットワークを使つてのコミュニケーションをとる方法もある。3密を避けた形で行う方法もある。もちろん、その対応をしても感染しないわけではない。

ただ、地域の環境や防災については、なんらかの方法で地域で話をしておかなければ前に進まないと考えておりますので、みなさんの知恵をだしていただきたく冒頭のあいさつで述べた次第です。確かに何も行動しなければ、コロナには感染しないからそれでいいんだというのであれば、この会議の必要性はなくなります。

私が提出した資料は、地域コミュニティを深めるための活動を行うため、ヒト、モノ、カネを支援してくれている制度を記載しております。記載されている活動については、講師を呼んで少人数、小規模で活動するとか、コロナ禍においても活動している内容です。この活動することによってコロナに感染しなくなるとかそういうことではありません。

こういった活動は、他の地域では、自分たちで3密を避けるなどして活動しています。岩城地域においては、他の由利本荘市の地域に比べ、活動をしているところが少ないと感じています。

また、活動を一度やめたところは、再開の目途が立たなくなっているような状況です。

みなさんからいろいろと意見を伺いましたが、とりまとめるのも難しいところがあります。

○大竹市民サービス課長

みなさんから事前に提出していただいた回答は、全員分、会議開催通知と一緒に送付しておりますが、それをまとめたものを準備しておりますが、配布してよろしいでしょうか。

〔回答をまとめた書類を配布〕

○大竹市民サービス課長

みなさんから事前に回答いただいたものにまとめてあります。ご覧いただき、この中から取り組めるものだとか、標語だとかを抽出できるのであればやり方も見えてくるのかなと思います。

●C委員

会長は、この協議会をどういった方向に持っていきたいのですか。

●渡部会長

コロナ禍における日常でも、どうしても地域で行っていかねばならないものがあると思います。例えば防災のことであったり、地域の環境のことであったりするわけですが、それらへの地域活動について、“このようなことをこうすれば活動していけるよ”というような提案を考えてもらいたい。

もう一つは、コロナ禍において地域のみなさんもストレスを感じている。これを解消できる方法を地域の人にお知らせしていければいいとも考えております。

みなさんから回答していただいた提案を事務局の方にまとめてもらいましたが、この内容を煮詰めて、後日また会議を開催するという形でよいでしょうか。

●D委員

今後、報告するというのはどういう形での報告となりますか。

●渡部会長

協議会の提案が、地域住民に周知したほうがいいと考えられるものであれば、印刷したものを支所だより等に掲載して周知するという方法もある。

●C委員

ここで話し合ったことは、市の方にまとめて報告もあるのですか。

●渡部会長

報告書として提出します。6月までに報告する内容をまとめたいと思います。

今の状況では、まとめるということも難しそうですし、コロナ禍も今後変化していくと思いません。

●C委員

執行部の方でまとめて報告だけでもいいと思うけど。執行部のまとめた内容はこうだ、委員のみなさんはそれに従ってこれでいい、という判断するだけで進めてもいいと思うが・・・。

●渡部会長

まず、みなさんには、いろんな知恵をだして意見を出してもらいたい。

コロナは、私たちが経験したことがないもの。国も県も市も経験したことがないもの。地域の私たちができることをいろんな立場から出席していただいているので、いろんな角度から対策や提案を出して、その提案をまとめあげていきたいと思っている。

今回はここまでにして、事務局にまとめてもらったものをもう一度見直してもらって、再度開催する方向でいかがですか。

〔一同 同意〕

○事務局

6月に報告のまとめを予定しておりますので、3月に次回開催ということでよろしいでしょうか。

〔一同 同意〕

●渡部会長

次回、3月に開催させていただきます。

本日はありがとうございました。

【午後7時15分閉会】